

検定試験の第三者評価 【簡易版】総括評価 評価結果

1. 対象検定試験 ところ検定
2. 実施運営団体 一般財団法人 日本ところ財団
3. 受審有効期間 2028 年 9 月まで有効とする
4. 評価講評

●大項目Ⅰ 検定試験の実施主体に関する事項

検定試験の目的は HP 等に明確に示されている。組織体制や各種規程は整っており、継続的・安定的に検定試験を実施できる体制が構築されている。感染症対策に関しては、状況に合わせた見直しが行われ、その旨が HP に公開されている。検定試験に関わる財務経理情報が備え置かれ適正に運営されている。検定試験に関する情報は情報公開チェックリストに基づき HP 等に公開され、個人情報保護方針も公開されている。事業計画に基づき各部署にて定期的に会議を開催して PDCA サイクルを回し、検定試験の運営に関して継続的に改善が図られている。自己評価シートは毎年更新され、定期的に受審している第三者評価の結果と共に HP に公開されている。

●大項目Ⅱ 検定試験の実施に関する事項

検定試験の合格基準、受検手続き、スケジュール、照会窓口等の検定試験実施に関する情報は HP 等に公開されている。検定試験は基本的に CBT 方式で実施され、上位の級のみ実技・口述試験が実施されている。受検日は受検者の利便性を考慮して約 1 か月の試験期間から任意の日を選択することができる。専門家によって構成された試験検定委員会等で試験問題等の作成や難易度の水準調整を実施し、適正な問題作成に努めている。検定試験が教育機関でカリキュラムの一環として導入されるケースもあり、文部科学省の定める学習指導要領に準拠している。顔写真付きの身分証による厳格な本人確認が行われ、また、コンピューターを使って行われる試験についてはシステムの安定的な運用ができる体制が整えられている。

●大項目Ⅲ 検定試験の試験問題に関する事項

検定試験は各級ごとに心理学及びところ教育を学ぶ上で必要と考えられる分野から出題されるように設計されている。実技・口述試験に関しては、公平性を担保するため複数評価者によって、評価が行われるように配慮されている。評価終了後に評価結果を踏まえて試験検定委員会において試験問題・解答、合否基準の適切性等を検討しており、継続的に改善する体制が整えられている。

●大項目Ⅳ 継続的な学習支援・検定試験の活用促進

検定試験の結果を証明する合格証が発行されている。また受検結果のスコアシートには各級で獲得した知識・技能だけでなく分野別正答率が記載され、継続的な学習の参考となる情報も記載されている。各級で獲得した知識・技能については HP にも公開されている。学習支援のために HP 等で類似問題の公開や対策問題集の発行がされている。HP に合格者の声や合格後の活用事例が公開されている。

5. 評価達成率

大項目	該当項目数	達成項目数	達成率
1. 検定試験の実施主体に関する事項	9	9	100%
2. 検定試験の実施に関する事項	2 1	2 1	100%
3. 検定試験の試験問題に関する事項	6	6	100%
4. 継続的な学習支援・検定試験の活用促進	6	6	100%
合計	4 2	4 2	100%